

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で「その人らしく」「いきいきと」生活して頂くことをお手伝いし、「その人らしく」をいつまでも・・・を目標にし、日々取り組んでいる	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一人ひとりが、理念を実践していくために何をしたら良いか考えながら、日々入居者と向き合い、話し合い、共に行動し、実現に向けて取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には、機会あるごとに地域で暮らすことへの理解と協力を求め、地域の人々へは、行事への参加や日々の関わりの中で、地域の一員としての理解を求めている	○ 今後も機会あるごとに家族や地域に伝え続け、協力者や理解者を増やしていきたい
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々の挨拶や立ち話、おすそ分けやお茶へのお誘いといった日常的なつきあいを大切にし、行事を行う時には近所のお年寄りにも声をかけ参加して頂いている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や育成会の行事はもちろん、毎月の地域の高齢者の集まりへも参加し、近くのスーパーや美容室を利用したり、地元の人々と交流している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>	○	<p>老人会との交流をさらに深めながら、お互いの 生活に役立ったり豊かになるようなことを考え実 行していきたい</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている</p>	○	<p>自治会を通して育成会にも働きかけており、今 後も入居者が子供達とも交流が持てるように、実 現に向けて取り組んでいきたい</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる</p>	○	<p>会議以外では電話相談が主なので、今後も協力 しながらできることを考えていきたい</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>必要になった時にうまく活用できるように、定 期的に話し合っておきたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする際は、不安や疑問を残さないように十分な説明を行い、理解し納得して頂けるように務めている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何事にも入居者の自己決定を第一に考え、職員はまず意見を聞きなおかつ、日頃の関わりの中で率直な気持ちと言えるように関わっている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月お便りを発行し、日々の暮らしぶりや健康状態、職員の異動などを報告し、家族が訪問した際は出納帳の確認や暮しのアルバムを見てもらい入居者に変化があった時はその都度電話連絡している	○ 職員の名前を覚えてくれているのか不安があるので、集まりがあった時などにもっとアピールしていきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を置き、家族が訪問した際は出来るだけ話しかけ意見を聞くようにし、運営推進会議にも毎回出席してもらい、意見を運営に反映させている	○ 意見がなくてもそれが家族の真意なのかを常に考えながら、真摯な気持で接していきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者は、定期的に職員の意見を聞いており、管理者も月に一度のミーティングや日々の業務を通して出た意見や提案を取り上げ、職員間で十分議論し、運営に反映させている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な対応ができるように、ゆとりのある勤務配置となっており、必要に応じて管理者や職員が駆けつけ、同一法人内より応援してもらう体制ができている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が継続して勤務でき、入居者との馴染みの関係が続けられるように、職員の勤務に対する希望や長期的な予定や不満を日頃から聞いており、異動や離職を必要最小限に抑え、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の、段階に応じた職員育成のための研修計画に沿った研修が受けられ、外部研修も希望があれば受けられるように勤務を調整し、職場内でも定期的に勉強会を行っている</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は、同業者との交流を通じて職員相互の交流が持てるようにすすめており、職員も地域の事業所の見学等に参加している</p>	<p>○ 職員が同業者との交流をもっと持てるような機会を作っていきたい</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者は、規程以上の職員を配置し、可能な限り希望や年休を反映した勤務を実現しており、職員の意見を反映しながら、ストレス軽減や良好な職場環境作りに取り組んでいる</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は、職員の努力や実績、勤務状況を把握し処遇に反映させ、研修会にも積極的に参加を促し向上心を持って働けるように努めている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に必ず本人に会い、困っていることや希望などをお聞きし、少しでも不安の解消になるように努め、こちらの雰囲気をわかって頂くためにも、事前の訪問をすすめている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前には家族と十分話をし、入居に至るまでの不安を受け止め、今後の希望や本人の様子を聞きながら、密に連絡を取り合っている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談初期には、本人と家族の思いを受け止めた上で、本人と家族の思いの違いがある場合も理解し、ホーム入居以外の必要性も考慮し、関係機関と連携しながら支援している	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族には、事前に訪問してもらい、ホームの雰囲気に馴染んで頂けるよう働きかけており訪問できない場合には、雰囲気がわかるように写真等を見て頂く	○ できる範囲で多くの職員に会ってもらい、顔馴染みになっておく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、介護者としてではなく、共に生活をすす生活者同士であることを理解し、一緒に過ごし喜怒哀楽を分かち合い、共に支えあう関係を築きながら、その人らしさを大切にするよう努めている	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族へは、共に本人を支える協力者として接しており、まめに本人の情報を伝えながら、本人の希望を叶えるための協力もお願いし、将来のことに関しても相談しながら、信頼し協力できる関係を築いている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の訪問時には、日常の様子を伝えながら新たな情報収集に努め、家族と本人がゆっくり話せるように配慮し、また家族との外出行事や食事会等を実施し、より良い関係が継続するように努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人とは継続して付き合えるようにお誘いしたり、馴染みの場にこちらから出掛けたり、関係が途切れないように支援している	○	馴染みの人にもっと訪問してもらえるように働きかけていきたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係を把握し、トラブルなどの予測をしながら見守り、他の入居者との雰囲気や損ねないように、入居者同士の関わりや協力を大切にしている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても、継続的な関わりが必要な方には、電話等で近況を伺いながら、必要な情報を提供している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや、その人らしい暮らし方をするためには何が一番いいかを、本人と話し合い考えながら支援している	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、これまでの生活に関する出来る限りの情報収集を行い、入居後も関係者から得た情報を記録に残し共有し、生活に生かせるようにしている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの、日常の様子や心身の状態や持てる力の情報を、職員や医師、看護師らが共有し、総合的に把握している	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、必要によっては主治医や看護師の意見をふまえてカンファレンスを行い、本人がより良く暮らせるような介護計画を作成している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度モニタリングを行い、カンファレンスを実施して介護計画の見直しを行い、それ以前にも本人に変化が見られた時には、その都度カンファレンスを行い、現状に即した介護計画を作成している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内の医師や看護師と連携し、体調や状態の変化に気をつけながら暮らしの継続をはかっており本人や家族の要望や相談にもできるだけ答える努力をしている	○ 法人内の機能を活かし、身体機能の維持のためのリハビリを取り入れていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会を通じて得た情報をもとに、様々な行事に参加して地域との交流を深め、身近の消防署の協力のもと火災や救急時の対処法について学び、緊急時に備えている	○ 今後は必要に応じて、ボランティアと協力して支援していきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と相談して、転居先や他のサービスを利用できるように支援している	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今後必要に応じて、相談や協力していくこともあると思うが、現在のところは特に協力して行っていることはない	○ 必要に応じて考えていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	今後より現実化した場合に備えて、日頃から具体的なことについて話し合っていく
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	個々の場合に備えた対応をチームで話し合っておく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人の住み替えに際しては、関係者と事前に十分な話し合いや情報交換を行い、本人とも出来る限り話し合いをし、住み替えによるダメージが少なくなるよう努めている</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者一人ひとりに対して尊厳を傷つけない言葉掛けを行い、個人情報の取り扱いはマニュアル化して漏洩を防ぎ、日々のやり取りや記録にも十分気を配っている</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>何事においても本人の希望が表せるように働きかけており、難しい場合でもどこかに本人の意思が反映されるように支援している</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの生活ペースや性格、力を最大限考慮して、その人の希望を聞きながら、一日を楽しく生活できるよう配慮し支援している</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の望む美容院に行ったり、希望により理美容師の訪問カットもあり、その日に着たい洋服を自分で選んで頂き、その人らしいおしゃれができるように支援している</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物やおやつは、一人ひとりの好みに応じて日常的に楽しんで頂いているが、お酒やたばこは特に希望がなく、お酒は行事の際などにすすめている	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おむつ使用の方にも可能な限りパンツ使用を試み、一人ひとりの排泄パターンや力を把握し、行動から読み取ったりしながらさりげなく誘導し、水分・食事・運動に気を配り、自分の力を使いながら気持ちよく排泄できるよう支援している	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	清潔保持に気を配りながら希望者を優先とし、一番に入りたい人・ゆっくり話がしたい人・仲良し同士で入りたい方など、個々のくつろぎ方や入浴方法を楽しんで頂いている	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間や昼寝の習慣など一人ひとりに合わせており、眠れない方には、日中の行動の見直しや安眠できる環境作りを行い、疲れの見える方には飲み物や落ち着ける場所での休養をすすめ、日々の体調や行動に合わせて支援している	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事は毎日みんなで行うものとして全員に声掛けし、一人ひとりの力やその日の気分に合わせて参加して頂き、得意分野や趣味などを生かして、自信や楽しみを持てるように支援している	○ 今までの趣味も身体的にも億劫になってしまった方が多いので、今に合わせた楽しみを共に考えていきたい


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	○	<p>字を書くことが億劫になってきているので、普段から書く機会を増やしていきたい</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>運営者及びすべての職員は、身体拘束をしないケアについて正しく理解し実践している、</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はなく、日中玄関は施錠せず自由にして頂いているが、入居者の安全を考慮し門は施錠しているため、外出は職員付き添いとなっている	○	門の施錠については、安全性を考慮した上で今後も検討していく
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながらも、日中お部屋で過ごしている方には時々声をかけ、夜間も定期的に安全確認を行うなど入居者の所在や様子に気を配っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品は使い道に合わせて保管し、個人所有のものは一人ひとりに合わせた管理方法を取り、手元に置いてある場合も常に危険がないように配慮し、場合によっては一時預かるなど危険防止に努めている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的に勉強会や研修等で事故防止のための知識を学び、転倒しやすい入居者には付き添い、誤薬がないよう複数の職員で確認し、食事と一緒に食べたりと事故防止に努めている	○	一瞬の気の緩みが、大きな事故につながることを常に認識しておく
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は急変や事故発生時の対応マニュアルを把握し、応急手当の講習会や消防訓練を通して、初期対応の意義を理解し実践できるように努めている	○	今後も定期的に応急手当の研修を行い、実際に対応できるようにしておきたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年一回の消防訓練で避難状況を確認しながら、地域の災害訓練にも参加し、災害時には法人内の組織や地域の協力が得られるように働きかけている	○	災害時に備えて、地域の防災対策についても話し合っておきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ・ノロウイルス・O-157・疥癬・結核・MRSA・肝炎等の予防や対応のマニュアルに添って予防策を実行しており、手洗いは日頃から徹底し、法人の感染症委員会とも連携しながら予防に努めている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・包丁・布巾等は毎日消毒しており、食材は毎日新鮮なものを購入し、購入後はただちに冷蔵や冷凍等の適切な場所に保管している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	外からの見通しが良く、玄関周りには季節の花や野菜を植え、門の外や玄関の前にベンチを置いて近隣の方が寄りやすいような雰囲気作りに努めている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には自然の光や風が入り、不快な音はなく、季節や時期がわかるような手作りの作品やものを置き、程よい生活感の中で居心地よく暮らせるように工夫している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間には、独りになれたり、気の合った入居者同士で過ごせたり、と人数によって思い思いに過ごせるような居場所がある		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	個々の身体機能に合わせて、力が十分発揮できるような環境作りを心がけていく
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「その人らしく」をいつまでも・・・を目標に、日々入居者と暮らしている私たちですが、何と言っても一番はやっぱり“食べること”です。何を食べるか決めることから始まって、皆様の口に入るまでにはとにかくいろいろあるんです。「面倒臭い!」「何でもいい!」「うんまいもん!」いざ、決まっても今度は誰が買いに行くかで一騒動。すったもんだで出掛け先では「あれ、うんまげね〜」「こっちにするべ〜」やっとのことで帰ってきて、これで食べられる訳ではなし。誰が作るかでも「今日はダメ」か、返事もなくシカト?やっとのことで作り始まって、いつのまにかいなくなるのは日常茶飯事で・・・。「ご飯まだ?」の声を聞くむなしさと言ったら・・・。出来あがっても、セルフサービスなんだから、誰も持って来てくれませんよ。「自分の食ったもんくらい自分で片付けるの!」というわりには、いつになっても動かない人のなんて多いことでしょう・・・。こんなこと一日三度繰り返していたら、ほんと食べることで終わっちゃうんです。でも、その中には、笑いあり涙ありで、しゃべること・動くこと・考えること・感じることなど一杯つまっているんです。食べることが大好きな私たちには、様々なお誘いが来てお付き合いも広がり、知り合いと体重がグングン増えているところです。単なる食いしん坊なんて言わないで下さい。食を通じて、自分らしさをアピールし、地域に溶け込み、毎日の生活を精一杯楽しむ、これが「陽だまりの生きる道」なのであります。食べることでも「その人らしさ」は十分でるんですね。これからも、どんどん食べて、笑って、大声出して、グルメ街道まっしぐらに突き進む、私達陽だまり一家に乞うご期待!